

OKIグループのサステナビリティ

OKIグループは、企業理念に掲げた「進取の精神」のもと、「社会の大丈夫をつくっていく。」企業としてモノづくり・コトづくりを通じて社会課題の解決に貢献するとともに、ステークホルダーの皆様の信頼に応える誠実な企業活動を実践していきます。

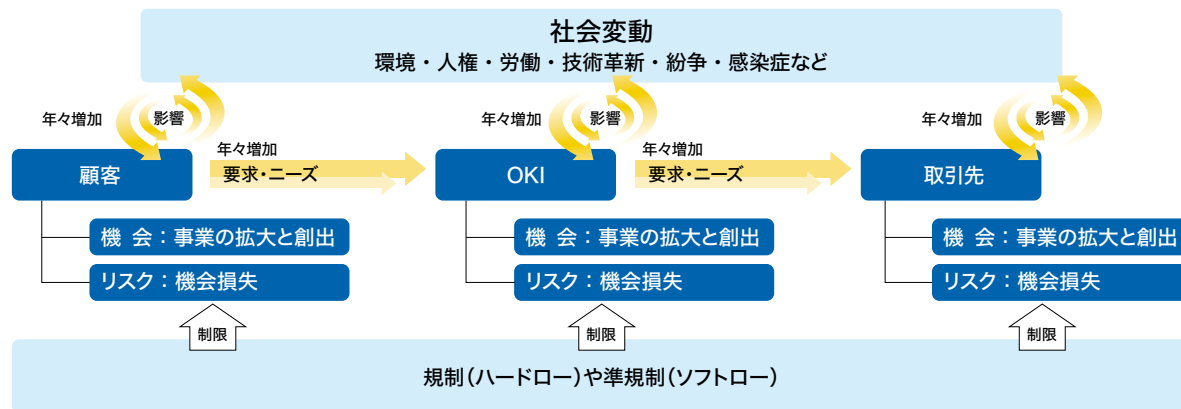
基本的な考え方

近年、急激な科学技術の進展に伴う気候変動などの地球環境の悪化、人権の阻害、感染症などさまざまな社会変動や社会課題が顕在化し、こうした社会課題の解決に対する、社会やステークホルダーからのOKIグループへの期待や要請が高まっています。こうした外部環境を踏まえて、ありたい姿や貢献分野を考慮し、重要課題（マテリアリティ）を価値創造戦略の側面とこれらを支える経営基盤強化の側面から捉えています。

価値創造戦略においては、「社会課題を解決するモノ、コトの実現」をマテリアリティとしています。企業理念に掲げた「進取の精神」のもと「社会の大丈夫をつくっていく。」、すなわち、止まることが許されないミッションクリティカルな商品・サービスの提供を通じて社会課題を解決していくことが、OKIグループとして不変のあるべき姿であるとして、不断の努力で取り組んでいます。

経営基盤強化では「事業活動を通じた環境負荷低減」「価値を創出し続ける企業文化への変革」「持続的成長を支える経営基盤強化」を重点に、コーポレート部門や共通基盤部門が中心となり、事業活動に伴い生じる負の影響を低減する横断的なマネジメントを進めています。

OKIの外部環境認識



主な取り組み

2024年度、OKIグループではマテリアリティのうち「持続的成長を支える経営基盤強化」において「自社における人権尊重」および「サプライヤーの人権・環境・倫理」のマネジメントを課題とし、取り組みを進めました。特に、人権については、自社工場やサプライチェーンにおける製造業務従事者の人権リスクにフォーカスし、社長の指導のもと、関係部門との整合を進めるとともに、外部有識者の意見を踏まえて2025年度以降に向けた対応を計画し、具体的な施策協議を開始しました。

詳細は「人権の尊重」▶P.36 および「責任ある調達活動」▶P.37 をご参照ください。

サステナビリティ推進体制

OKIグループは持続可能な成長を目的に、特定したマテリアリティに基づく取り組みを推進するため、2023年4月にサステナビリティ推進の専任部門を設立するとともに、サステナビリティ推進部門担当役員を設置しました。

サステナビリティに関する重要事項については、経営会議において決定しています。上述の専任組織をはじめとする関係部門から、マテリアリティを具体化した環境・社会・ガバナンスの取り組み状況や課題について、経営会議への報告を行っています。取締役会に対しては、事業に大きな影響を及ぼす事項が報告されます。

サステナビリティ推進体制

